



さいたま市介護支援専門員協会  
ロゴマーク

# STARTS NEW

Vol.67

2024年春号

## 令和5年度 第4回全体研修

テーマ 「地域共生社会を推進していくケアマネジメント」

↳重層的支援体制整備事業とケアマネジメント・相談支援の役割

講師 十文字学園女子大学 副学長 人間生活学部 教授 今井 伸氏

開催日時 令和5年2月10日(土) 14時00分～16時00分

開催方法 ZOOMでのリモート方式

本年度第4回目の全体研修会は、  
十文字学園女子大学副学長、人間生

活学部の今井伸教授をお招きした。

今井伸氏は社会福祉士、介護支援専  
門員の資格を取得されており、練馬

区職員、障害者施設の生活保護ケ  
アワーカー、地域包括支援センター

所長等を経て現職に就任。専門は行  
政福祉。大田区、練馬区、荒川区の

アドバイザーを務めており、積極  
的に携わっている「重層的支援体制

整備事業」についてご説明をいた  
いた。

の議題にあがっていない。

### 1. 重層的支援体制整備事業とは

市区町村の手上げ方式による任  
意事業。

東京23区は、ほとんどの区が今  
後実施するという流れになってお

り、大田区は今年度から実施、練  
馬区は令和7年度から実施予定。

さいたま市は、まだ具体的に議会

### 2. 重層的支援体制整備事業の内容

・相談者の属性、世代、相談内容  
に関わらず、包括的相談支援事  
業において包括的に相談を受け  
止める。

・包括的相談支援事業が受け止め  
た相談のうち、単独の支援関係  
機関では対応が難しい複雑化・  
複合化した事例は多機関協働事

業につなぐ。

- ・多機関協働事業は、各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し、重層的支援会議を行う。
- ・重層的支援会議を通じて、関係機関間で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワークをつくることを目指す。
- ・必要に応じてアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業につないでいく。
- ・地域住民相互の交流を行う拠点の開設等の援助を行うため、各法の事業を一体的に行う地域づくり事業。

例えば、ケアマネジャーとして利用者及び家族に関わっていると、家族が精神疾患であったり、利用者が家族から虐待を受けているケース等が多くある。そのような場合、ケアマネジャーだけでは対応できない。重層的支援体制整備事業を実施している自治体であれば、そこに地域の保健師に関わっていただくことができる大きな要素になる。その他、障害、児童、医療機関などの多機関協働で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、ネットワークを作っていく。

つまり、「みんなでその方を何とかしたい」という体制が、重層的支援体制整備事業の大きな効果であるとともに、多機関協働で支援者の皆さんを守っていくという事業でもある。

続いて、グループワークを行い、今回の講義

を聞いた上で「やってみたいと思ったこと」「実現するために」「感想」等を話し合った。

- ・自分一人ではなく他の専門職が協力して課題解決にあたることができることは心強い。ケアマネジャーとしては助かると思う。
- ・事業を実施することになれば、ケアマネジャーの力量が求められるので、ケアマネジャー自身も更に勉強が必要になる。
- ・現在以上にケアマネジャーの役割が増えるので大変だと思う。
- ・さいたま市が事業を実施することになった際には「自分の仕事ではないのでできない」と言うことなく、自分の役割として積極的に関わっていくことが大事。

賛否両論さまざまな意見があがった。

まとめ

「一人でやっている」と、その支援方法が正しいかどうか分からない。多職種協働の大事なところは一人一人が個々の価値観だけで関わるのではなく、エビデンスの薄いものだからこそ、みんなに関わることで厚みを設けていく」という今井伸教授の話が印象的だった。

さいたま市は、今のところ「重層的支援体制整備事業」の実施は未定だが、今回の研修で既に事業をスタートした自治体があるという現状を知り、今後さらに自治体によって支援体制の差が明確になることで、どこに住んでいるかが重要になってくるのでは？という懸念が生じた。ケアマネジャーとしても、さいたま市民としても有意義な研修だった。



## さいたま市介護支援専門員協会 会員随時募集中！

さいたま市介護支援専門員協会は、介護支援専門員の資質向上とネットワーク化を図り、介護支援業務の円滑な推進に資することを目的に活動しています。

入会をご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

## 第5回 施設ケアマネ研修会

### テーマ「適切なケアマネジメント、はじめの一步」

講師 NPO法人 介護の会まつなみ 代表者 峯尾 武巳氏

開催日時 令和6年2月24日(土) 14時00分〜16時30分

開催場所 SOMPOケア大宮 研修室

参加者 25名

#### △内容▽

- 1、ケアマネジメントのプロセスとアセスメント方法の確認
- 2、適切なケアマネジメント概要の説明
- 3、自作のケアプラン点検
- 4、まとめ



の長年の経験から、あたりを付けて、状況を  
見立て、根拠を探すことを意識して欲しい。医  
師の診断までの流れを例えに、①問診を行って  
からある程度の病気の可能性を排除し、②診察  
や触診などを経て病気を疑い、③採血などの検  
査データを根拠に診断に至る。(仮) 課題分析  
については、右記①に値する。

次に、日総研の『適切なケアマネジメント手  
法 基本ケア 項目一覽』(令和5年6月版)を  
元にケアプランの点検方法について学ぶ。この  
様式を使用して自己点検をする意味については、  
抜け漏れを防ぐことや視点が偏らないことが目  
的であり、定期的な点検に使用する。見直すた  
めの道具としての役割がある。丁寧なケアマ  
ネジメントだと思っで使用し、時間をかけて見  
直すことが重要である。愛媛県の介護支援専門  
員協会では、『適切なケアマネジメント手法』の  
実践研修を行い、実施報告をしている。

その後、持参した実際のケアプランを点検し  
てみると、参加者より抜け漏れがあったとの声  
が多数あり、施設でも実際に活用してみたい  
の意見も上がった。

研修の感想として参加者からは、『施設ケア  
マネは適切なケアマネジメントが取り組みやす  
い。なぜならその道のプロが存在しており直ぐ  
に情報収集ができるからだ』という言葉が印象  
に残りました。「普段、365日24時間ご利用  
者に対応でき施設というパッケージで、専門家  
が支援を行う強みを感じ取ることができました」

という施設の強みや、「仮説」という「あたり」  
を付けて、どんな方なのか5W1Hで理由付け

今回の研修は、株式会社日本総合研究所(以下、  
日総研)の令和3年3月『適切なケアマネジメント  
手法』の「手引き」(2021年8月31日改訂  
版)を元に行われた。日総研では半年の期間を  
要して研修を行っており、当日は2時間半の研  
修であることから内容を全て理解することは難  
しく、概要を覚えて自身の作成したケアプラン  
の見直しに役立てることがねらいである。題に  
もあるように、はじめの一步であることを意識  
して欲しいとの内容である。

峯尾先生は、『適切なケアマネジメント手法』  
の「手引き」は、施設ケアマネであるほど活用し  
て欲しいし活用しやすいと述べる。施設では多  
職種が一つの建物に所属しており、それぞれの  
視点での意見も集約しやすく協議や検討を行い  
やすいことが背景にあるためである。

ケアマネジャーはインテークの段階で仮説を  
持って(仮)課題分析を行い、専門職として

をしていくこと事、「アセスメントに対して適切なケアマネジメント項目一覧」を目安として聞き取りを行っていく事、「適切なケアマネジメント手法」の手引きP23の基本ケアを参照しながら支援を考えていく事、「立ち止まって1つ1つ丁寧に行っていく」という言葉が強く私には突き刺さりました」と感想を持ち、ケアプランに正解はない「一緒に考えながら支援させていただきませう」とご利用者ご家族にお声を掛けていきたいですと決意をされていた。

最後に、ケアマネジャーはプランをご家族に説明し同意を得る公的な仕事を担うことから、責任を持って定期的にプランを点検する必要があることが分かり、一步を踏み出すきっかけとなった。



## 令和5年度 よろず相談会

開催日時 令和5年12月22日（金） 14時30分～15時15分

開催方法 リモート方式及び会場研修開催

参加者 25名

今回のよろず相談会では、水川通商株式会社 代表取締役 生前・遺品整理アドバイザー 矢吹きしお氏をお招きして「在宅介護の環境改善・生前と遺品の整理」についてご説明いただきました。

「介護する側とされる側の尊厳を守り、在宅介護の環境を整理術で手助けする」ことを掲げ自宅整理ラボ事業として、「安心の無料法律相談」「自宅整理収納」「生前整理」を行っています。

「自宅整理ラボ」は、介護を必要とする高齢者の生活と、心と体の健康、そのご家族の安心を最期まで見守ることを目的に、在宅現場の改善と日々の暮らしと生活を守る専門的なプロフェッショナル集団を構成し、地域に密着した生活サポートを通じて、高齢化社会の課題解決を目指し、地域社会のニーズに添っていく活動をしています。

ご家族が大事にされてきた形見・遺品を大切に分別・整理し、QOLの向上と在宅現場の環境改善に向けて、社会貢献を目指しています。

## 令和6年度 さいたま市介護支援専門員協会

### 「通常総会及び全体研修会（講演）」の開催のご案内

令和6年5月18日（土） さいたま共済会館 601号室（第1ホール）

通常総会 13時45分～14時50分（受付13時15分～）  
全体研修会 15時00分～16時45分

演題 『2024年度介護報酬・基準改定のポイント』  
～3年後も見すえたケアマネ業務の行方と対応～

講師 介護福祉ジャーナリスト  
田中 元 氏

## 『神奈川県介護支援専門員協会にて

### カスターマーハラスメントの事例発表を行いました!』

敬寿園宝来ホーム・デイサービスセンター 渋谷 知久

令和6年3月19日に、神奈川県介護支援専門員協会 第2回地域包括連携会議において、「カスターマーハラスメントの事例発表」の事例発表を行いました。神奈川県協会とは、宮本会長が以前から交流をされていた経緯があったためご依頼をいただいたことから、私がカスハラ事例発表をさせていただくことになりました。

その会議は神奈川県内の地域包括の職員や各市町村の行政職員等、約40名の方がリモートでご参加され、皆さんから「渋谷先生!」なんて呼ばれてしまう場違いさと、緊張と恐縮の中であんなにか小1時間の事例を発表させていただいた次第です。

事例内容は私が2年前に担当させていただいた方で、当時近隣のケアマネ・ヘルパー事業所がどなたも担当していただけないようなケースでしたので、お話ししたい内容には事欠かず事例の経緯を年表式に説明させていただいてから、ヘルパーさんからの「100万円払ってもいいので、やめさせてほしい。この辛さを行政の方にも分かってほしい。」との切なる思いを告白され、当居宅の管理者であるA田をはじめ、地域包括の担当者や福祉課、支援課の担当者、複数のヘルパー事業所にもご参加いただいた支援会議を複数回開催させていただいたという具体的なお話をさせていただきました。

後半は、8グループに分かれてのグループワークを行い、事例の感想・これからできること、総合相談スキルに関する意見交換について話し合われました。

そのグループワークでは、地域包括の職員や行政職員の方々が数多く参加されており、結論としては、これから困難ケースが増えていくであろうこと。それらのカスハラ対策については、契約時の重要事項説明にてしっかりと説明すること。親身になって「困ったことがあったら何でも相談してね」がトリガーになることもあるので、できることできないことには線を引く。利用者も支援者も誰も一人にさせないこと等が挙げられていました。

相談スキルとしては、相談している本人自体、何を求めているのか分かっていないケースがあるので、相談内容を整理する必要がある。相談者に肩入れせずに中立的に関わる。弁護士など法律家に相談する。ある程度時間を決めて相談を受ける等、できることの線引きをする等が挙げられました。

研修に参加しての結論としては、様々な総合相談を受けていらっしゃる方々なので、さすがだなと感心したことと、カスハラについては答えはないということ。答えがないからこそ、ケアマネや相談支援者が一人で抱えるのではなく、

相談できる関係性を関係機関と作っておくことがとても重要であることを実感し、参加者の皆さんもそのように感じられたことが印象的でした。

最後に、当協会の研修でも多くの会員の皆さんや行政担当者の方に参加していただけるように研鑽をつんでいきたいと思いました。



### 「歌の力」 会員K

今日は私が勤務している老人ホームの月1回のお誕生日会でした。今月生まれた方に、他のお客様と一緒に『ハッピーバースデートゥーユー』を一人一人に歌っています。要支援1から要介護5の方、以前のことを忘れてしまっている方から覚えている方、車椅子の方から元気に歩いている方、皆さんそれぞれですが一年に一度の主役になれる日は幾つになってもお祝いされるのは嬉しいこと、皆さんニコニコしてくださいます。

今日は2月生まれの6人の方のお祝いをしました。一人の方は人前に出るのが苦手なので、食事の席のお仲間でこじんまりとお祝いをし、他の5人の方は大勢でお祝いしました。(司会進行は私です)それぞれの方にハッピーバースデーを歌い、ホーム長からスタッフ手作りのバースデーカードを手渡します。今日は5人のお祝いだったので5回歌いました。その次はYouTubeを使って一人ずつに歌のプレゼントの時間です。事前に好きな歌や思い出の曲、好きな歌手や俳優などリクエストをお聞きしますが、なかなか思いつかない方はご家族にもお聞きします。それでもわからない時はその方の出身地、以前の職業、住んでいた場所、全体の雰囲気などから想像したり、歌レクの時にふと見せた表情を思い出しながら、その方にじっくりとする曲を探していきます。私はこの作業がとてつもなく楽しいのです。

以前の誕生日会でどんな曲にも無反応だった方に東海林太郎の「赤城の子守唄」をプレゼントしたところ、一瞬目に涙を浮かべていたので。群馬県前橋市の出身だったのでこの歌しかないと思ったのです。後日ご家族にこの話をすると自宅の畑の目の前に赤城山が大きく見えて

いたと話してくれました。「思い出したんでしょうね」と息子さんも感慨深い様子でした。私の目頭も熱くなってしまいました。

今日お祝いした方の中にリクライニング式の車椅子に乗っていても首が前に垂れてしまい、いつも目を閉じて下を向いて発語もなくなってしまっている方がいました。ハッピーバースデーを歌った時は少しだけ目が開き、他の方のリクエスト曲のディック・ミネや美空ひばり、藤山一郎の歌を聴いているうちに、気がつくと首がしゃんと上がってテレビに流れている映像を見ていたのです。歌の力はすごいなと感じた瞬間でした。その方はご家族からの情報もなく、何の歌にしようか迷った挙句、今の季節にしか歌えないけど、女の子なら誰でも知っていて幼い日の思い出がある歌「うれしいひな祭り」を選びました。その方が体でリズムを刻みながら聴いている姿を見て、私は心の中で「やった～」と自画自賛していました。リクエストコーナーの次は千昌夫の「北国の春」体操です。目の不自由な方もいるので動きをわかりやすく説明し、皆で楽しく歌いながら体を動かしました。最後はホーム長の「よ～」のかけ声の一本締めで終わりです。

こんな流れで毎月お誕生日会を行い、ご入居されている方々に楽しんでいただいておりますが、実は誰よりも楽しんでいるのは私なのです。

歌うことは、気分が良くなったり楽しくなったり、また回想力や記憶力が動き出したりするだけでなく、口腔機能の向上にも役立ちます。舌根を鍛え食事をしっかり食べて、誤嚥を防いで、まさに寝たきり予防の大元と言えます。歌の力って本当に凄いですね。

## 事務局

〒331-0074 埼玉県さいたま市西区宝来 86-1

敬寿園宝来ホーム

連絡先 TEL 080-4750-4400 FAX 048-620-0601

## ホームページ

<http://www.saitamashi-keamane.jp>

さいたま市介護支援専門員協会

検索